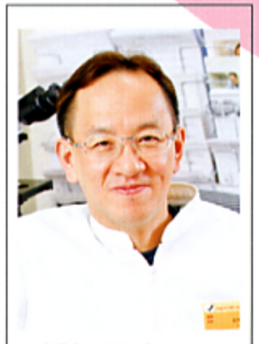
不妊治療に力を入れている クリニック訪問 連載32

おち夢クリニック名古屋
〈旧・おちウイメンズクリニック〉
（愛知県 名古屋市）

「スタッフ全員、患者さん一人一人との対話をたいせつにしています」



越知正憲 院長

1983年藤田保健衛生大学医学部卒業。同大学第二教育病院産婦人科学教室入局。88年同大学院医学研究科修了。聖霊病院、名古屋第一赤十字病院、八千代病院などをへて、97年竹内病院内に最新の医療技術と研究を行うトヨタ不妊センターを開設、所長に就任。男性不妊の治療にもとり組む。2004年5月おちウイメンズクリニックを名古屋市栄で開業。08年名古屋地区最大規模の不妊治療専門クリニックとして、名称変更とともに現在の場所に移転。

「より自然に」を変わらぬモットーに、完全自然周期・自然周期による体外受精を

患者さんご自身にも、卵のためにも、よい環境を！

加藤レディスクリニックを中心とした永遠幸（とわゆき）グループの提携クリニックであるおち夢クリニック名古屋（旧・おちウイメンズクリニック）は、今年5月に現在の場所に移転しました。クリニックのあるビルは地下鉄駅のまん前！　8階の広い待合室の一面に広がる大きな窓からは、眼下に緑豊かな公園、そして名古屋のシンボルの一つでもあるテレビ塔も眺めることができ、とてもせいたくな気分になれます。

「患者さんにとって快適な空間を提供したいと思い、この眺めがあったので、ここを選んだのです」と越知正憲院長。ほんのりアロマの香りがただよい、窓からは青空と緑、室内なのに思わず深呼吸したくなるような雰囲気です。

おち夢クリニック名古屋が、開設以来その診察モットーとしているのが「よい卵を育てること」「よい胚（はい）に育てること」「よい方法で移植すること」の3ステップです。言葉にするととてもシンプルですが、それを実現するためにトップレベルの技術力が必要なことはいうまでもありません。永遠幸グループの提携クリニックであるため、常に東京と同質の最先端の技術が提供されています。

「患者さん自身の力で育てた卵がいちばんよい卵。だから大量の排卵誘発剤を使うようなことはしません。自然にとれた1個の卵を確実に戻して、多胎をつくらないことが大事なのです」と越知院長。多胎妊娠は、胎児数がふえるほど出生体重は減り、流・早産率が高くなる傾向があり、母体の合併症のリスクも高まってしまうのです。

「そして、受精は卵子と精子の力で行うのが基本。必要のないケースにまで顕微授精を行って、患者さんご自身や卵によけいな負担をしいるのは避けるべきだと考えています。移植では大部分の患者さんに凍結融解胚盤胞（はんぱんぽう）移植を行っていますが、この方法による妊娠率は同年齢で同グレートの新鮮胚とくらべて、約20%も妊娠率を高くすることが可能なのです」

メリットの多いレスキューイクシー

同クリニックでは、顕微授精は重症の男性不妊や体外受精で受精障害が確認された人などに限定して実施。〝とりあえず顕微授精〟ということは行いません。ただし、体外受精で受精が確認できない場合には「レスキューイクシー（ICSI）」を行います。

これは採卵後3時間の前培養後に、精子と卵子をシャーレの中で6時間培養。卵子の中に精子が進入していないと判断した場合にのみ、顕微授精を行って受精卵へと導くという方法です。

「レスキューイクシーのメリットは大きく2つ。ひとつは、体外受精が受精できずにキャンセルになってしまうことの回避ですね。ふたつ目に、通常1日遅れとなる顕微授精の進行が、この方法だと体外受精と同程度の時間経過で受精卵に導けるということです」

また、顕微授精では最高3000倍という高倍率で精子を選別できるイムジー法も導入しました。さらに同クリニックの治療について知識を深めてもらうための勉強会（「体にやさしい自然周期体外受精勉強会」毎月第4日曜日午後4～6時、詳細はHPで確認を）も定期的に開催しています。個別相談の時間も設けられているので、不妊治療についての気がかりも解消できますし、越知先生の明るいお人柄に直接ふれられる絶好のチャンス。近隣のかたは参加してみてはいかがでしょう。

（左）看護師の皆さん。
（下）処置室の様子。

不妊専門カウンセラーの資格を持つ小野師長。ていねいであたたかみのある対応が患者さんたちから好評です。

明るい雰囲気の診察室。隣には清潔感あふれ、ゆったりとした造りの内診スペースがあります。

最先端技術を提供する培養室。温度・湿度を緻密にコントロールし、受精卵を育てます。天災などの停電時に備えて、屋上には自家発電機も設置。

（上）ホルモン検査を行う検査室。
（下）採卵や手術を行うスペースです。

上のお子さんを連れて受診される患者さんのためのキッズルーム。

採卵や胚移植後の体を休めるためのプライバシーを重視した個室の安静室。

「落ち着いて待ち時間を過ごせるように」とイスはあえて、受付や診察室とは逆向きに。大きな窓から名古屋の街が見渡せます。

8階にあるクリニックのエントランス。カラフルでセンスのよいガラスのプレートが迎えてくれます。

おち夢クリニック名古屋

Address	愛知県名古屋市中区丸の内3−19−12 大京久屋ビル8F
Access	地下鉄名城線・桜通線「久屋大通駅」2A出口より徒歩1分
Tel	052−968−2203
HP	http://www.art-ochi.com

診療時間	mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
10:00〜12:30	○	○	○	○	☆	○	☆
16:00〜18:30	○	☆	○	○	／	☆	／

※ 祝日は午前中のみ診療を行います
※ 金曜午後・日曜午後・祝日午後は休診です
※ ☆はクリニック指定の患者さんのみの診療となります

先生はどんな人？
クリニックの雰囲気は？
どんな治療が受けられるの？
などなど、行ってみて
聞いてみなくちゃわからない
クリニックの素顔を、
まるごとレポートします。

取材・文／植田晴美
撮影／黒川英治、澤田和廣
レイアウト／アドクリ